



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 テイカ株式会社  
コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 名木田 正男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 山崎 博史

TEL 06-6208-6404

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	18,302	1.7	2,256	16.4	2,405	20.0	1,676	29.3
27年3月期第2四半期	18,004	△0.5	1,938	39.5	2,003	41.0	1,297	43.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 421百万円 (△76.1%) 27年3月期第2四半期 1,761百万円 (3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	35.22	—
27年3月期第2四半期	26.14	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	46,794	33,342	70.8	696.07
27年3月期	48,126	33,113	68.4	691.58

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 33,136百万円 27年3月期 32,926百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	5.1	4,600	20.9	4,800	22.4	3,200	30.1	67.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	51,428,828 株	27年3月期	51,428,828 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	3,823,808 株	27年3月期	3,818,581 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	47,607,114 株	27年3月期2Q	49,621,918 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策の効果を背景に、企業収益や雇用環境の改善、設備投資の増加などが見られました。一方で、円安の進行による物価上昇や中国経済をはじめとするアジア新興国の景気減速など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは国内外市場における新規顧客の開拓や既存顧客との関係強化などを積極的に推進するとともに、製造原価の低減、事業全般にわたる効率化を図ることにより、売上拡大と収益性の向上に取り組みました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、化粧品向けの微粒子酸化チタンや表面処理製品等の機能性製品の販売が好調に推移したことなどにより、売上高は183億2百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は22億5千6百万円（前年同期比16.4%増）、経常利益は24億5百万円（前年同期比20.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億7千6百万円（前年同期比29.3%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の9ページ「セグメント情報」をご参照ください）

#### 酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは、建築塗料向けの需要低迷やアジア市況悪化等の影響を受けましたが、国内のインキ向けが堅調に推移、販売数量、売上高ともに前期並を維持いたしました。

機能性用途の微粒子酸化チタン、表面処理製品は化粧品向けが好調に推移し、販売数量、売上高とも前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は98億1千6百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

#### その他事業

界面活性剤は主用途の洗剤等日用品向けが概ね順調に推移し、販売数量、売上高とも前期並みを維持いたしました。タイの連結子会社の販売は堅調に推移し、売上高は前期を上回りました。

硫酸は販売数量、売上高ともに前期を下回りました。

無公害防錆顔料は輸出が堅調に推移、導電性高分子薬剤はコンデンサ向けの需要が回復し、売上高は前期を上回りました。

倉庫業は荷扱量が増加したことにより、売上高は前期を上回りました。

エレクトロ・セラミックス製品は顧客の在庫調整により、売上高は前期を下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は84億8千5百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は、467億9千4百万円（前連結会計年度末比13億3千2百万円減少）となりました。これは主に、投資有価証券が18億9千1百万円減少したことによります。

負債合計は、134億5千2百万円（前連結会計年度末比15億6千万円減少）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億1千6百万円、借入金が5億3千9百万円、それぞれ減少したことによります。

純資産合計は、333億4千2百万円（前連結会計年度末比2億2千8百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が14億8千6百万円増加、その他有価証券評価差額金が12億9千万円減少したことによります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが26億2千4百万円の収入（前年同期比4億7千4百万円収入額の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益23億7千8百万円、減価償却費8億6千8百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、14億4千5百万円の支出（前年同期比6億5千万円支出額の増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出13億9千5百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億3千6百万円の支出（前年同期比8千5百万円支出額の増加）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出3億4千6百万円、配当金の支払額1億8千9百万円によるものであります。この結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末より4億4千1百万円増加し、77億7千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,413	7,855
受取手形及び売掛金	10,684	10,395
商品及び製品	5,262	5,280
仕掛品	543	414
原材料及び貯蔵品	2,612	2,255
その他	682	711
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	27,197	26,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,713	4,117
機械装置及び運搬具(純額)	3,645	3,757
その他(純額)	3,338	3,698
有形固定資産合計	10,697	11,573
無形固定資産	68	61
投資その他の資産		
投資有価証券	9,379	7,487
その他	806	782
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	10,162	8,247
固定資産合計	20,928	19,883
資産合計	48,126	46,794

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,531	3,314
短期借入金	1,462	1,240
未払法人税等	906	713
賞与引当金	351	342
その他	2,328	2,398
流動負債合計	8,580	8,009
固定負債		
長期借入金	2,170	1,852
環境対策引当金	134	58
退職給付に係る負債	2,855	2,857
その他	1,272	673
固定負債合計	6,432	5,442
負債合計	15,012	13,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	12,864	14,350
自己株式	△1,440	△1,443
株主資本合計	28,047	29,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,653	3,363
為替換算調整勘定	302	308
退職給付に係る調整累計額	△76	△65
その他の包括利益累計額合計	4,879	3,606
非支配株主持分	187	205
純資産合計	33,113	33,342
負債純資産合計	48,126	46,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	18,004	18,302
売上原価	13,658	13,495
売上総利益	4,345	4,806
販売費及び一般管理費	2,406	2,550
営業利益	1,938	2,256
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	73	75
環境対策引当金戻入益	—	66
その他	26	44
営業外収益合計	102	188
営業外費用		
支払利息	27	24
その他	9	14
営業外費用合計	37	39
経常利益	2,003	2,405
特別損失		
固定資産除却損	36	27
出資金評価損	25	—
特別損失合計	62	27
税金等調整前四半期純利益	1,941	2,378
法人税、住民税及び事業税	637	686
法人税等調整額	△7	△2
法人税等合計	630	683
四半期純利益	1,311	1,695
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,297	1,676



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,311	1,695
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	490	△1,290
為替換算調整勘定	△51	5
退職給付に係る調整額	11	11
その他の包括利益合計	450	△1,273
四半期包括利益	1,761	421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,752	403
非支配株主に係る四半期包括利益	9	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,941	2,378
減価償却費	855	868
受取利息及び受取配当金	△75	△76
支払利息	27	24
売上債権の増減額 (△は増加)	45	285
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△617	467
仕入債務の増減額 (△は減少)	339	△214
その他	△42	△294
小計	2,474	3,438
利息及び配当金の受取額	75	76
利息の支払額	△27	△24
法人税等の支払額	△371	△866
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,150	2,624
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△757	△1,395
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
その他	△31	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△795	△1,445
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	93	△230
長期借入れによる収入	700	40
長期借入金の返済による支出	△1,139	△346
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△296	△189
非支配株主への配当金の支払額	△4	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△650	△736
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	688	441
現金及び現金同等物の期首残高	5,544	7,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,232	7,776

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,666	8,338	18,004	—	18,004
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	229	229	(229)	—
計	9,666	8,563	18,234	(229)	18,004
セグメント利益	1,135	798	1,933	5	1,938

(注) 1. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,816	8,485	18,302	—	18,302
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	337	337	(337)	—
計	9,816	8,822	18,639	(337)	18,302
セグメント利益	1,338	923	2,261	(5)	2,256

(注) 1. セグメント利益の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。